

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 12 月 21 日 (2017.12.21)

【公開番号】特開 2017-10706 (P2017-10706A)

【公開日】平成 29 年 1 月 12 日 (2017.1.12)

【年通号数】公開・登録公報 2017-002

【出願番号】特願 2015-123506 (P2015-123506)

【国際特許分類】

H 0 1 H 71/08 (2006.01)

H 0 1 H 73/02 (2006.01)

【F I】

H 0 1 H 71/08

H 0 1 H 73/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 11 月 10 日 (2017.11.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可動接点又は固定接点に接続された第 1 端子、及び可動接点又は固定接点に接続された第 2 端子を 1 組とする少なくとも 3 組以上の開閉機構を備え、前記開閉機構は筐体に並設され且つ 2 組単位で直列接続される回路遮断器であって、

隣接する開閉機構の第 1 端子間又は第 2 端子間を接続する U 字形接続導体、一方の開閉機構の第 1 端子と、隣接する他方の開閉機構の第 2 端子間を接続するノ字形接続導体、及び前記 U 字形接続導体及び前記ノ字形接続導体を嵌め込み収納する案内溝を有し、前記筐体の背面を覆う絶縁体を備え、

互いに隣接する開閉機構の各第 1 端子、各第 2 端子は、前記 U 字形接続導体及び前記ノ字形接続導体で選択的に接続されることによって 2 組の開閉機構を直列接続すると共に、電源用端子及び負荷用端子は、各第 1 端子及び各第 2 端子のいずれかの端子によって構成されていること特徴とする回路遮断器。

【請求項 2】

前記絶縁体は、前記開閉機構を覆う板状絶縁体で且つ 2 枚 1 組で構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の回路遮断器。

【請求項 3】

前記板状絶縁体には、両端部に前記 U 字形接続導体を嵌め込む第 1 溝部の一半部、及びこの第 1 溝部から板状体長手側面の中央部に達して前記ノ字形接続導体を嵌め込む傾斜状の第 2 溝部の一半部が形成され、前記案内溝は、2 枚の前記板状絶縁体のうち、一方の板状絶縁体を水平面上で 180 度回転させて他方の板状絶縁体に突合させることにより、一方の第 1 溝部を他方の第 1 溝部に連通させると共に一方の第 2 溝部を他方の第 2 溝部に連通させることによって構成されていることを特徴とする請求項 2 に記載の回路遮断器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 5 】

図 1 6 において、回路遮断器 5 1 は、板状絶縁部材 1 と、2 枚の板状絶縁部材 1 からなる絶縁体 1 0 2、ノ字形接続導体 3 を備えている。ノ字形接続導体 3 と回路遮断器 5 1 本体は、ボルト 6 で固定し、板状絶縁部材 1 と回路遮断器 5 1 本体は取付ねじ 7 で固定する。

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 5 8

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 5 8 】

1 0 2 : 絶 縁 体、 1 0 3 : 絶 縁 体、 1 0 4 ~ 1 0 8 : 絶 縁 体 (実 施 の 形 態 5 の み)

、

1 : 板 状 絶 縁 部 材、 2 : 板 状 絶 縁 部 材、 3 : ノ 字 形 接 続 導 体、

4 : ノ 字 形 接 続 導 体、 5 : U 字 形 接 続 導 体、 5 0 : 回 路 遮 断 器、

5 1 : 回 路 遮 断 器、

5 0 a、5 0 b、5 0 c、5 0 d : 電 源 側 の 端 子、

5 0 e、5 0 f、5 0 g、5 0 h : 負 荷 側 の 端 子、1 0 2 a b c : 案 内 溝、

1 0 3 a b c : 案 内 溝、

1 0 2 a : ノ 字 形 溝 部 (第 2 溝 部 に 相 当) ,

1 0 2 b、1 0 2 c : U 字 形 接 続 導 体 用 溝 部 (第 1 溝 部 に 相 当) ,

1 0 3 b、1 0 3 c : U 字 形 接 続 導 体 用 溝 部 (第 1 溝 部 に 相 当) ,

8 a ~ 8 d : 電 源 側 端 子、 9 a ~ 9 d : 負 荷 側 端 子